## ６　優秀研究業績全国水産試験場長会会長賞表彰式

### (1) 審査委員長経過報告・講評

全国水産試験場長会副会長　木村　稔

企画担当副会長の木村でございます。審査委員会の経過及び結果についてご報告します。規定に基づき、３つのブロックより推薦された３つの表彰候補について、10 月 22 日に東京都島しょ農林水産総合センター会議室において、会長賞表彰審査委員会を開催し審査を行いました。コロナ禍ということもあり、審査委員会では一部 WEB 形式も併用して行いました。審査にあたり、各推薦ブロックの幹事からプレゼンテーションによって各研究業績の内容が説明されました。推薦調書とプレゼンテーションをもとに、全国のブロック幹事から選出されました審査委員長を含む６名の審査委員により優秀研究表彰規定に基づき、地域の水産業の振興に貢献するか、試験研究の成果が今後の水産試験研究の発展に寄与すると認められるかどうか、主にこの２点を評価の視点として審査を行いました。その結果、いずれも令和 2 年度水産試験場長会会長表彰を受けるにふさわしい業績であると判断しました。

まず、海面部会北海道ブロックから推薦された北海道立総合研究機構栽培水産試験場の清水洋平部長による「北海道日本海南部海域におけるムール貝養殖技術開発と事業化に関する研究」については、北海道日本海海域において、新たな二枚貝垂下養殖業を創出し、漁業者の安定収入につなげるとともに漁業者と地域による取組を進めることにより、地域振興にも貢献しました。このように、地域と共に事業展開まで取り組み、新しい養殖漁業を定着させた本研究は、今後の北海道産業に係る研究の手本となるべき事例であり、これらの成果は地域の水産業の発展に大きく貢献するものと認められました。

次に、海面部会東海ブロックから推薦された三重県水産研究所 岩出将英主査研究員による「アサクサノリ養殖技術の開発」については、地先に自生する希少なアサクサノリを発見したことをきっかけに、環境に合った効率的な養殖手法の確立、スサビノリの混入を防ぐための漁場利用法の具体化、さらには DNA 検査技術を用いた品質評価手法の確立など、生産から商品化（高品質化）に至るまでの一連の技術開発に取組み、三重県にアサクサノリ養殖を復活させるとともに、新たな地域水産業として定着させました。その功績は大きく、地元養殖業者からも高い評価を得ており、これらの成果は地域の水産業の発展に大きく貢献するものと認められました。

最後に、内水面部会関東・甲信越ブロックから推薦された新潟県内水面水産試験場的山央人課長による「錦鯉の穴あき病防除対策に関する研究」については、新潟県において、錦鯉輸出は増加傾向にあり、有望な成長産業であり平成 30 年で 24 億円となっています。新潟県内水面試験場は錦鯉に関する魚病研究･指導を専門的に行う全国唯一の機関と言ってよく、穴あき病対策技術の開発は、中山間地の産業である錦鯉生産を下支えするとともに商品としての信用を高め、流通販売にも大きく寄与し、国内はもとより海外の錦鯉関係者にも貢献してきました。年月を要してはいるものの、現場に即した技術開発と指導の実績は地方水試職員の模範となるものであることから、これらの成果は地域の水産業の発展に大きく貢献するものと認められました。

どれも素晴らしい研究で、地域で奮闘している水産試験場の研究者の皆様に改めて敬意を表したいと思います。以上で講評を終わります。

### (2) 会長賞表彰式

丸山会長より受賞者に賞状の授与、水産技術者協会和田理事より副賞の贈呈が行われた。また、和田理事より副賞についての説明があった。

**・地域水産試験研究等促進奨励会**

**全国水産技術協会理事　和田時夫**

全国水産技術協会の理事の和田でございます。本日、本来ならば会長の川口が参って皆さんにご挨拶し、また副賞の贈呈をさせていただくところでございますが、理事を仰せつかっております私が代わってご挨拶と副賞の贈呈をさせていただきます。

ご案内の通り、私どもの外郭団体は、地域の水産業を対象に仕事をさせていただいております。その際に都道府県の水産試験場の皆様との連携、また皆様の研究開発の成果を活用させていただくことが非常に大事であります。その意味で、改めまして日頃からの皆様のご活躍、また私どもとの連携に対して感謝を申し上げたいと思っております。

そうした中で、かねてから全国水産技術協会より全国水産試験場場長会全国大会における優秀な業績に対する表彰に関して、ささやかではございますが副賞を贈呈させていただいてきたところでございます。今般、日頃お世話になっています団体にもお声かけをし、お手元の資料３にございます 11 の団体で新たに場長会の活動をサポートさせていただく枠組みを作ったところでございます。

今後はこの 11 の団体でもって、引き続き場長会での優秀な業績の表彰について副賞を授与するという形で、連携を一層深めさせていただくと同時に、本当にささやかではございますが、場長会の活動をお手伝いさせていただければと思っております。今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

資料３

全国水産試験場長会の皆様

我が国水産業の維持発展を図るため地域における技術的課題に対応した試験研究や技術開発の実施等を担う都道府県水産試験場をはじめとする試験研究機関等の活動に深甚の敬意を表します。

また、地域水産業を対象に業務を展開する全国的な水産関係団体は、水試等の試験研究等の成果を基礎とし、これら機関と連携して業務展開を図ってきているところです。

このような関係にある両者の連携の緊密化、円滑化に資するよう、かねてより一般社団法人全国水産技術協会が、全国大会において行われる「優秀研究業績表彰」について副賞を贈呈してきたところです。

今般、関係者の声にお応えして、贈呈する副賞の内容を充実するとともに、下表に掲載する水産関係団体により「地域水産試験研究等促進奨励会」を創設し、地域水産試験研究等の効果的促進を奨励する事業を引き続き実施することといたしました（参考：優秀研究業績表彰副賞＝図書券 10 万円/件×3 件）。

場長会の皆様方には、このような経過をご理解賜り、引き続き一層の連携を頂くことができますようよろしくお願い申し上げます。

令和 2 年 11 月 19 日

地域水産試験研究等促進奨励会

| 団　体　名 | ホームページ URL |
|---|---|
| 公益財団法人　海と渚環境美化・油濁対策機構 | http://www.umitonagisa.or.jp/ |
| 公益財団法人　海外漁業協力財団 | http://www.ofcf.or.jp/ |
| 一般社団法人　漁業情報サービスセンター | http://www.jafic.or.jp |
| 全国漁業協同組合連合会 | http://www.zengyoren.or.jp/ |
| 一般社団法人　全国水産技術協会 | http://www.jfsta.or.jp |
| 全国内水面漁業協同組合連合会 | http://www.naisuimen.or.jp |
| 公益社団法人　全国豊かな海づくり推進協会 | http://www.yutakanaumi.jp/ |
| 一般社団法人　大日本水産会 | http://www.suisankai.or.jp |
| 一般財団法人　東京水産振興会 | http://www.suisan-shinkou.or.jp/ |
| 公益社団法人　日本水産資源保護協会 | http://www.fish-jfrca.jp/ |
| 一般社団法人　マリノフォーラム２１ | https://www.mf21.or.jp |
| 事　務　局 | 全国水産技術協会（川口、増村） |

（令和 2 年 10 月２７日現在、五十音順）